



第2章 横須賀市の健康をとりまく現状



第2章 横須賀市の健康をとりまく現状

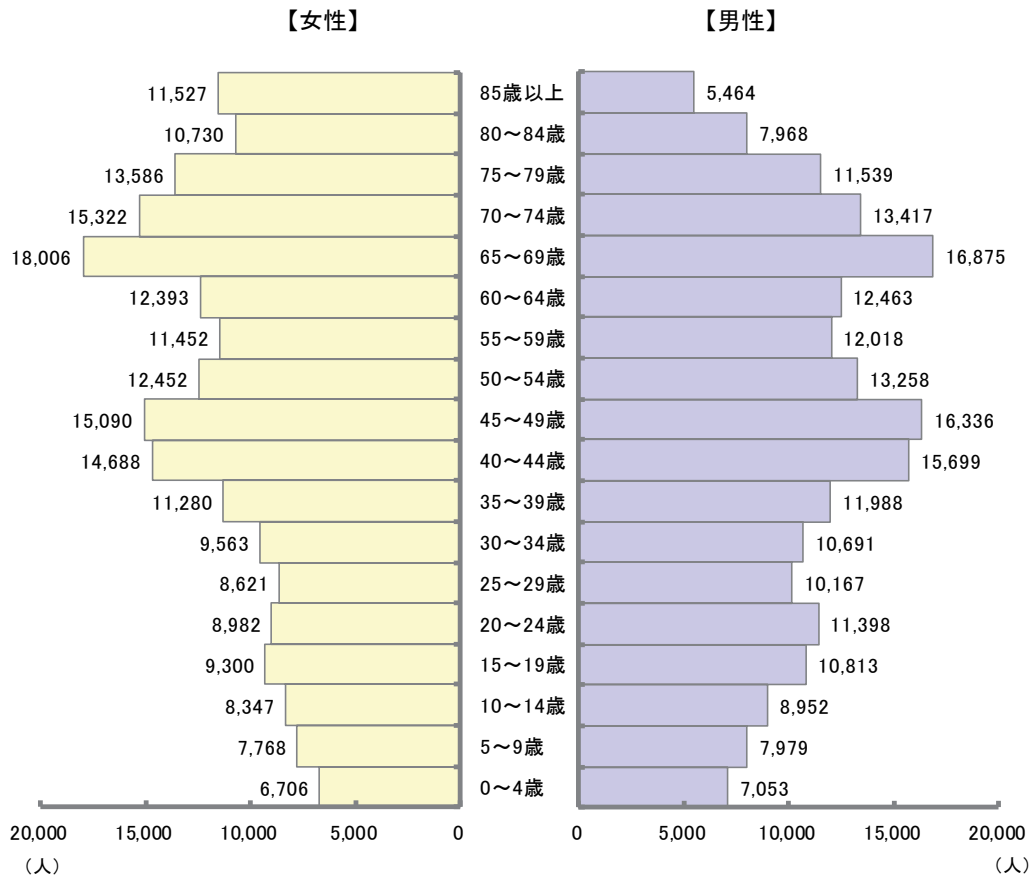
1 人口動態

(1) 人口ピラミッド

第一次ベビーブーム（昭和22～24年）、第二次ベビーブーム（昭和46～49年）の世代が突出した2つのふくらみをもつ「ひょうたん型」となっており、第一次ベビーブーム（昭和22～24年）世代のいわゆる団塊の世代が、65歳以上となっています。

65歳以上の人口は、各世代（5歳階級）で、男性に比べ女性の方が1,000人以上多くなっています。

図表2-1 人口ピラミッド



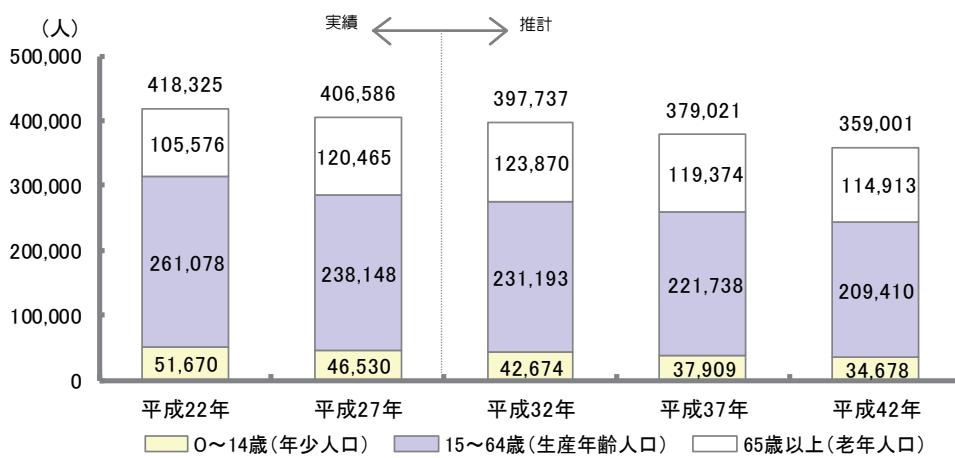
出典：住民基本台帳（平成29年4月1日現在）

(2) 年齢3区分別推計人口

総人口、年少人口、生産年齢人口ともに減少が続き、今後も減少することが予測されます。老年人口は平成32年までは増加し、その後減少すると予測されます。

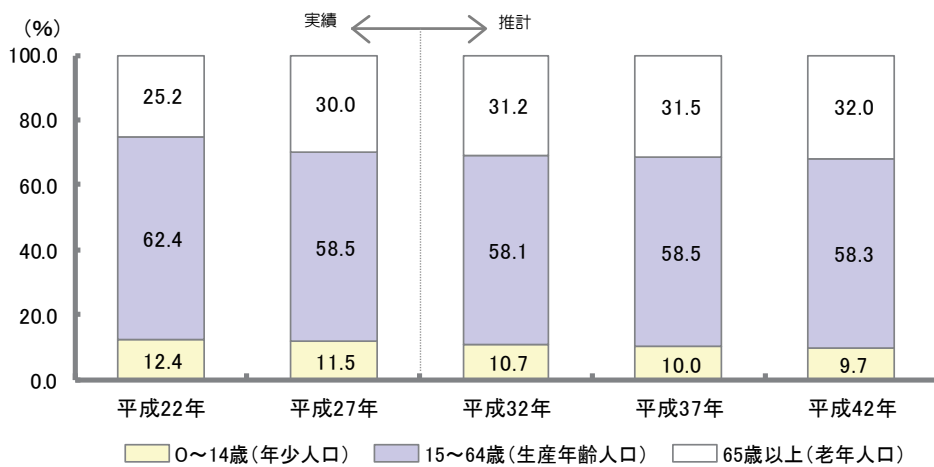
しかし、年齢3区分の割合をみると、老年人口の占める割合は高くなる傾向にあり、平成27年には30.0%となり、今後もさらに上昇すると推計されています。

図表 2-2 年齢3区分別人口推計



出典：平成22年、平成27年は国勢調査（年齢不詳除いているため、総数は異なる）
平成32年以降は、横須賀市都市政策研究所 横須賀市の将来推計人口（平成26年5月推計）をもとに作成

図表 2-3 年齢3区分別割合の推移



出典：平成22年、平成27年は国勢調査（年齢不詳除く）
平成32年以降は、横須賀市都市政策研究所 横須賀市の将来推計人口（平成26年5月推計）をもとに作成

(3) 死因別死亡者数

この3年間の死因は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、老衰、肺炎が上位5項目を占め、1位悪性新生物、2位心疾患の順位は変わりません。特に、1位の悪性新生物の死亡率が高くなっています。

図表2-4 死因別死亡者数

	平成25年			平成26年			平成27年		
	死因	人	率	死因	人	率	死因	人	率
1	悪性新生物	1,349	329.0	悪性新生物	1,324	325.1	悪性新生物	1,319	324.4
2	心疾患	694	169.2	心疾患	647	158.9	心疾患	621	152.7
3	老衰	378	92.2	脳血管疾患	414	101.7	老衰	409	100.6
4	脳血管疾患	372	90.7	老衰	392	96.3	肺炎	377	92.7
5	肺炎	363	88.5	肺炎	338	83.0	脳血管疾患	325	79.9

※率は人口10万対

出典：横須賀市衛生年報

2 市民アンケート結果（一部抜粋）

市民の健康に対する考えや生活状況を把握し、「横須賀市健康増進計画（第3次）・横須賀市食育推進計画（第2次）（健康・食育推進プランよこすか）」の評価を行い、計画づくりの基礎資料として活用することを目的に調査を行いました。

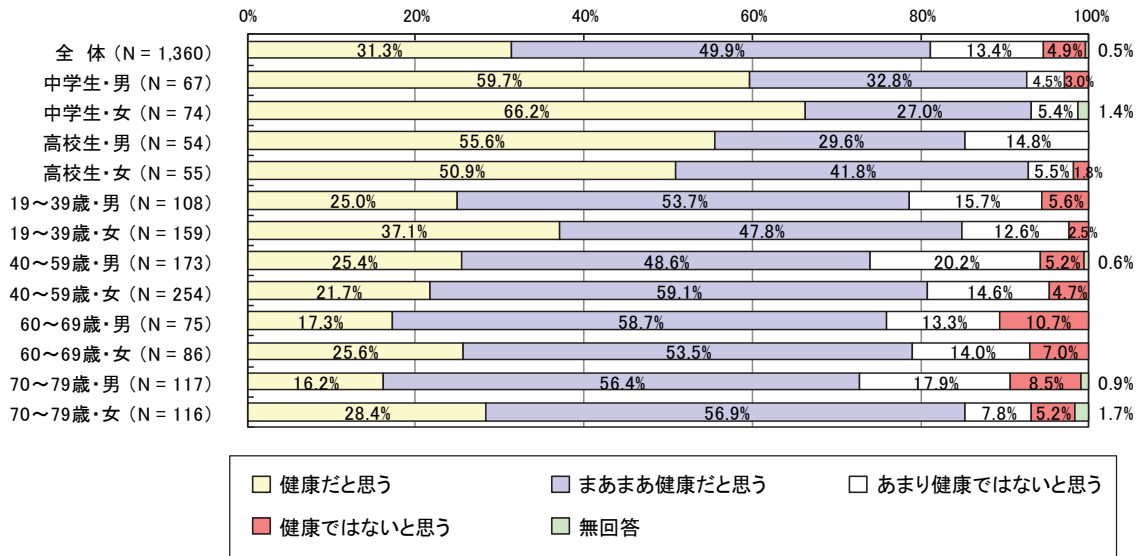
図表 2-5 アンケート調査の実施概要

区分	横須賀市健康増進計画・横須賀市食育推進計画に係る アンケート調査		
対象者 (横須賀市居住者)	未就学児・小学生 (回答は保護者)	中学生・高校生	成人 (19歳～79歳)
配布数	400名	600名	2,400名
抽出方法	住民基本台帳より年代別無作為抽出		
調査方法	郵送による配布及び回収		
実施時期	平成29年3月1日～平成29年3月23日		
回収結果			
・有効回収数	222	252	1,108
・有効回収率	55.5%	42.0%	46.2%

① 普段、自分は健康だと思うか

「普段、自分は健康だと思うか」について、「健康だと思う」と「まあまあ健康だと思う」を合わせた割合は81.2%となっています。また、すべての年代において男性に比べ女性で健康だと考えている割合が高くなっています。

図表2-6 「普段、自分は健康だと思うか」

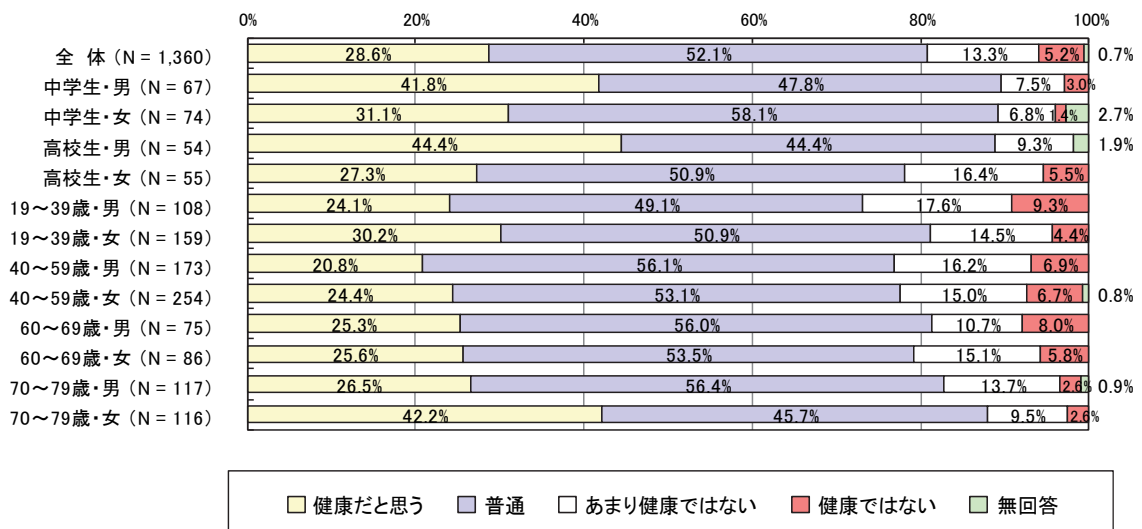


② 普段、自分の心は健康だと思うか

「普段、自分の心は健康だと思うか」について、「健康だと思う」と「普通」を合わせた割合は80.7%となっています。

また、高校生までは女性に比べ男性で健康だと思っている割合が高くなっていますが、19歳以降は男性に比べ女性で健康だと思っている割合が高くなっています。

図表2-7 「普段、自分の心は健康だと思うか」

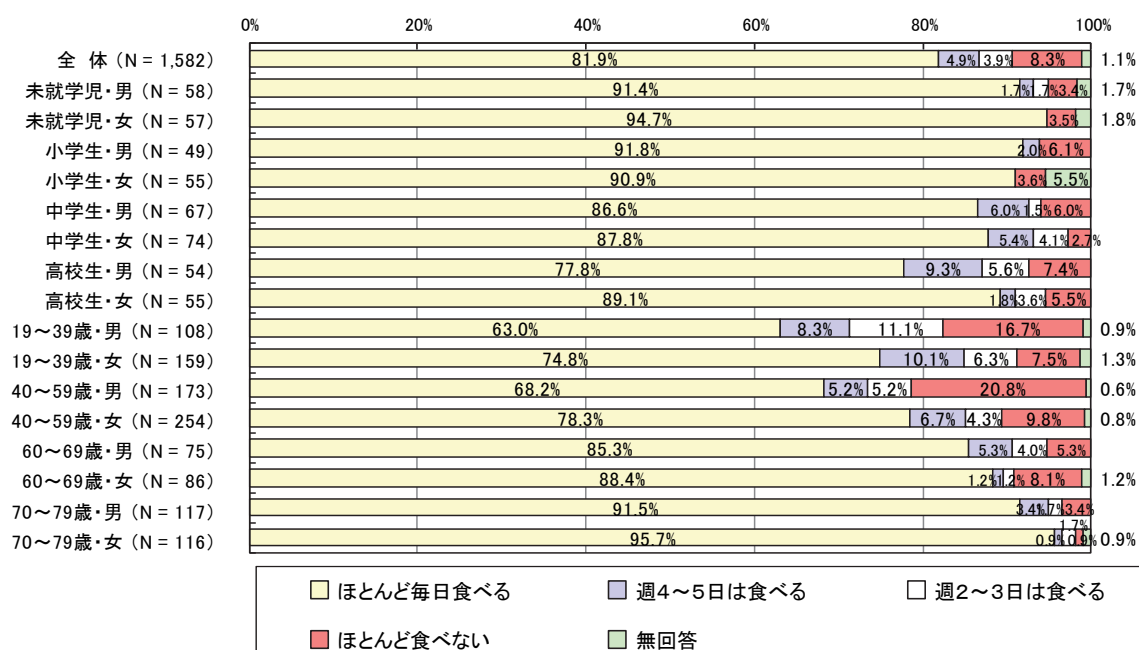


③ 普段、朝食を食べるか

「普段、朝食を食べるか」について、「ほとんど毎日食べる」割合は81.9%となっています。

小学生以下では「ほとんど毎日食べる」割合は約9割となっていますが、中学生、高校生と年代が上がるにつれ減少し、さらに19～39歳は男性で約63.0%、女性で74.8%と最も低い年代となっています。

図表 2-8 「普段、朝食を食べるか」

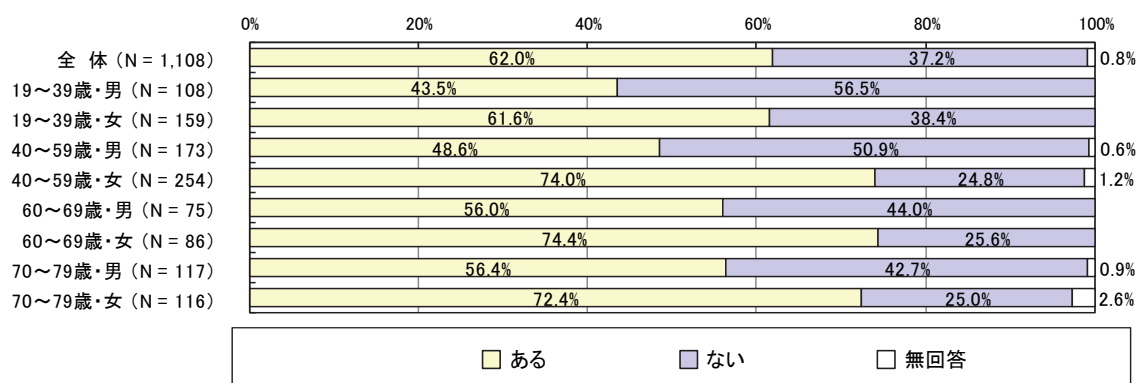


④ 「食品ロス」削減のための取り組みの有無

「食品ロス」削減のための取り組みの有無について、「食品ロス」削減のための取り組みが「ある」割合は62.0%となっています。

すべての年代において男性に比べ女性で「食品ロス」削減のための取り組みを実施している割合が高くなっています。

図表 2-9 「食品ロス」削減のための取り組みの有無

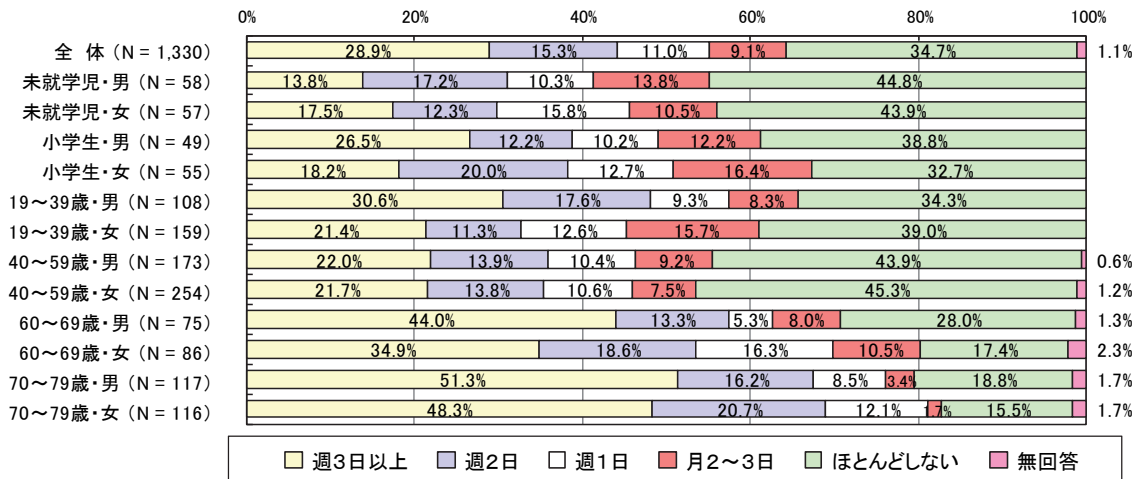


⑤ 1回に30分以上の運動（ウォーキングを含む）をどれくらいしているか

「1回に30分以上の運動(ウォーキングを含む)をどれくらいしているか」について、「週3日以上」28.9%、「週2日」15.3%、「週1日」11.0%と、5割以上は週に1日以上頻度で、1回30分以上の運動をしています。

また、60歳以上で「週3日以上」の割合が高く、特に70～79歳では男性で51.3%、女性で48.3%と高くなっています。

図表 2-10 「1回に30分以上の運動をどれくらいしているか」



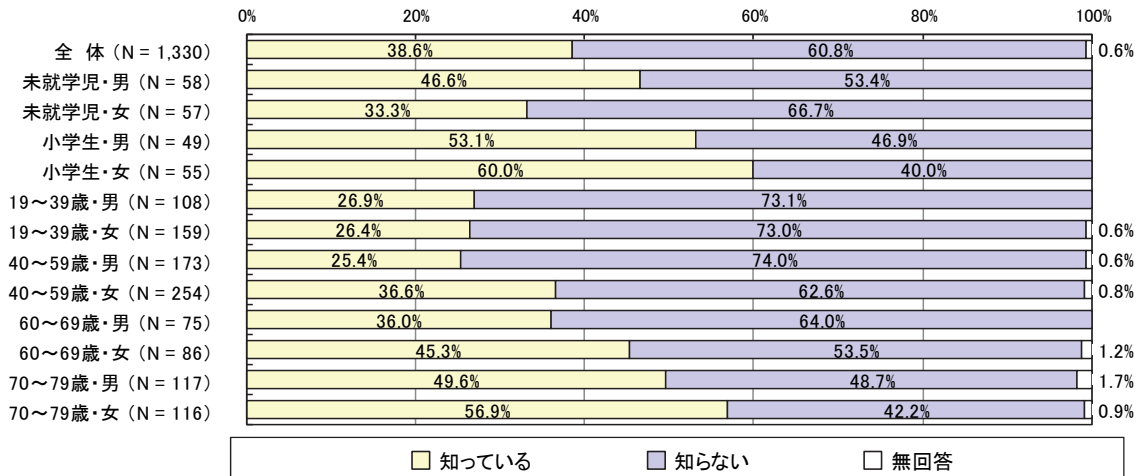
※未就学児、小学生は、保護者自身の回答です。

⑥ 市内の公園で町内会・有志が集まってラジオ体操をしていることを知っているか

「市内の公園で町内会・有志が集まってラジオ体操をしていることを知っているか」について、「知っている」は38.6%、「知らない」は60.8%となっています。

小学生の保護者で、「知っている」と回答した割合が高くなっていますが、19～39歳では2割半ばと低く、以降は年代が上がるにつれ高くなる傾向となっています。

図表 2-11 「市内の公園で町内会・有志が集まってラジオ体操をしていることを知っているか」

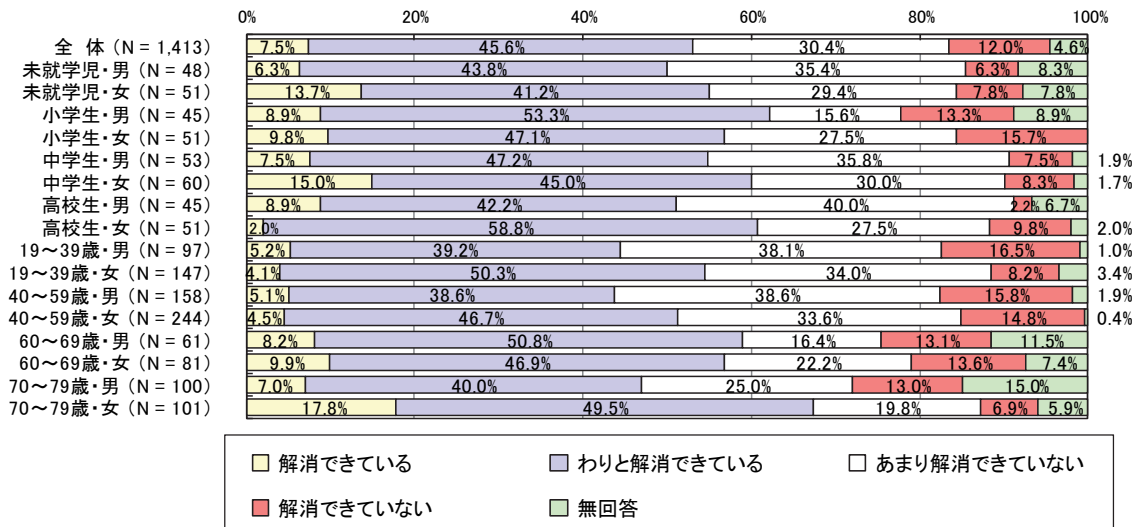


※未就学児、小学生は、保護者自身の回答です。

⑦ 悩みやストレスなどを解消できていると思うか

「悩みやストレスなどを解消できていると思うか」について、「解消できている」が7.5%、「わりと解消できている」が45.6%と、解消できている人が53.1%となっています。また、解消できている割合は、19～39歳、40～59歳男性で約4割と、他の年代に比べ低くなっています。

図表 2-12 「悩みやストレスなどを解消できていると思うか」



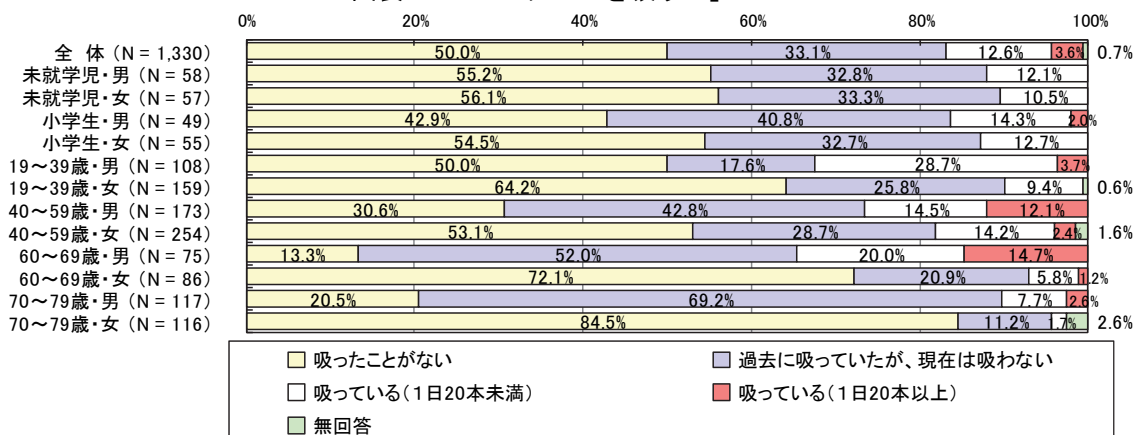
※未就学児、小学生は、保護者自身の回答です。

⑧ タバコを吸うか

「タバコを吸うか」について、「吸ったことがない」が50.0%、「過去に吸っていたが、現在は吸わない」が33.1%と、吸わない人が83.1%となっています。「吸っている（1日20本未満）」と「吸っている（1日20本以上）」を合わせた吸っている人は、16.2%となっています。

吸っている割合は、19～39歳の男性で32.4%、60～69歳の男性で34.7%と他の年代に比べ高くなっています。

図表 2-13 「タバコを吸うか」



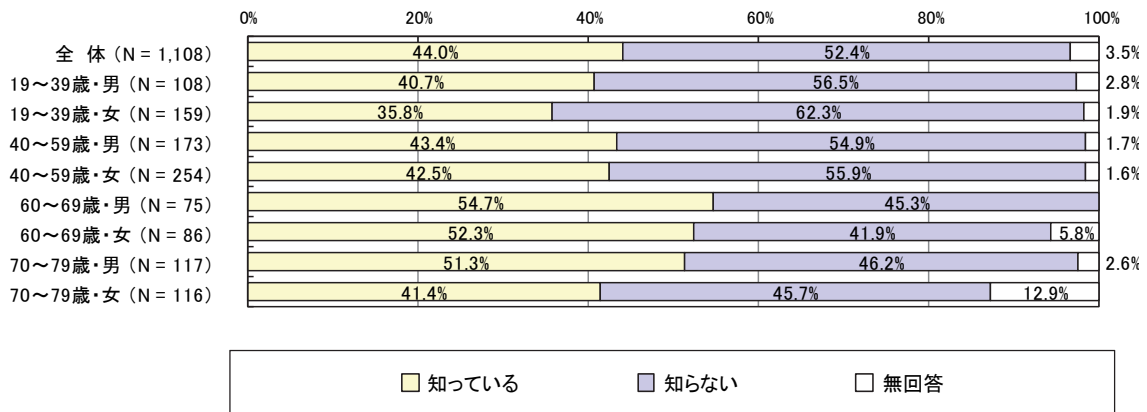
※未就学児、小学生は、保護者自身の回答です。

⑨ 適正な飲酒量の認知度

「適正な飲酒量の認知度」について、適正な飲酒量「知っている」が44.0%、「知らない」が52.4%となっています。

「知っている」割合は、19～39歳の男性で40.7%、女性で35.8と他の年代に比べ低くなっています。

図表 2-14 「適正な飲酒量の認知度」



⑩ 定期的（年に1回以上）な歯科健診の受診の有無

「定期的（年に1回以上）に、歯科健診を受けているか」について、「受けている」は49.8%、「受けていない」は49.1%となっています。

未就学児、小学生では「受けている」の割合が6割以上となっています。また、「受けていない」割合は、19歳以上の男性で高くなっています。

図表 2-15 「定期的な歯科健診の受診の有無」

